

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	17H06164	研究期間	平成29(2017)年度 ～令和3(2021)年度
研究課題名	オルガネラ膜特異的脂質環境の細胞内情報発信プラットフォームとしての新機能の解明	研究代表者 (所属・職) (令和2年3月現在)	新井 洋由 (東京大学・大学院医学系研究科・客員研究員)

【令和2(2020)年度 研究進捗評価結果】

評価		評価基準
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、オルガネラ膜特異的な脂質環境が細胞内シグナル伝達のプラットフォームとして機能するというユニークな仮説を証明することを目指している。</p> <p>これまでにリサイクリングエンドソームの細胞質側に濃縮されるホスファチジルセリンが、Hippo-YAP 経路の制御に関わること、DNA センサーである STING の機能にゴルジ体局在が必須であることなどの重要な発見を行っており、順調に研究が進展している。なお、スクリーニングの計画では、若干の遅れが見られるが、研究計画全体としては、研究成果が上がりつつあることから今後期待したい。</p>		